



山腰 恵一 議員

### 安全に登下校できる 環境の整備を！

#### 通学路の安全対策につ いて

問これまで緊急総点検が各地で行なわれ、安全対策が必要な箇所が公表されている。対応の進捗状況は。

答公表している23か所中、2か所が完了、16か所が対策実施中である。残り5か所は地元と調整中で、調整が整いしだい整備を行う。

問「ゾーン30」（自動車事故防止のため区域内での車の最高速度を時速30キロに制限する交通規制）の整備の考えは。



「ゾーン30」標識

#### 自転車の安全利用につ いて

問道路交通法の改正に伴い、危険な自転車運転を繰り返す人への罰則が強化された。自転

示化がさらに必要ではないか。

答路側帯のカラー舗装は、道路幅員、歩行者数、導線を考慮しながら整備を進めている。注意喚起表示については危険箇所の把握を行い交差点付近等のカラー表示化に努めている。

車の危険運転行為による事故の実態は。

答1月～10月まで、管内での危険運転行為による検挙はないが、警告は23件あった。

問更なる交通ルールの厳守やマナー向上について。

答一層の取り組みが必要であり、継続した啓発活動を行う。

#### 健康管理と健康増進につ いて

問胃がんの主な原因はヘリコバクターピロリ菌であるとされる。

ピロリ菌の有無と胃の萎縮度を血液から調べる胃がんリスク検診導入の方向性は。

答国の動向を注視していく。

生活習慣病の予防や健康増進の取り組みが求められている。

増え続ける医療費、介護費を抑える上でも健康マイレージ（ヘルスポイント）事業が必要である。導入の推進を要望する。



中箴 博之 議員

### 夜の景観にも磨きを

#### 文化財に関する諸施策

問高山らしい夜間景観の創出のために、看板や明るさ等の基準を新たに設けるべきでは。

答八次総において景観計画や屋外広告物条例の見直しを行うこととして今後検討していく。



冬の上三之町の夜景

問「飛騨郡代高山陣屋文書」など、県で保管されている貴重な歴史資料の高山市移管について協議の状況は。

答平成25年から、史料の一部を借りて飛騨高山まちの博物館で展示

しており、実績を重ねながら全史料の貸し出しを県に要望していく。

#### 地方創生の推進

問総合戦略には市民目線によるボトムアップが必要では。

答有識者会議はもとより、若者や女性を含む幅広い分野や世代から意見を聞きながら、一緒になって戦略の推進を図りたい。

問戦略推進の司令塔的な機関として創生センター設置が必要では。

答広域連携協議会や移住戦略組織など、官民

協働による実働組織を立ち上げるとともに、有識者会議を有効に機能させていく。

#### 防災情報の伝達と防災ラジオのあり方

問防災ラジオの不感エリア解消のための技術的な対策は。

答電波法などによる制約と電波そのものの特性から不感地域ができるのは避けられず、共聴施設などでエリア拡大に取り組んでいる。

問避難情報の伝達が難しい地域への対応は。

答町内会長への電話連絡や直接訪問などで対応している。